

# 令和4年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

## ＜ 理科 ＞

学年	現状分析	具体的な授業改善策
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や植物に関心をもち、学習に取り組むことができる。観察を丁寧に行い、細かく記録する姿が見られる。観察の手順や虫眼鏡の使い方などを理解し、学習に取り組むことができた。</li> <li>・植物のつくりや昆虫の体のつくりについて理解することができた。</li> <li>・自然の事象・現象について、予想を立ててから実験し、結果をまとめて、分かったことを考察する学習展開を行っている。グループで協力して実験を行うことができた。ノートにまとめる力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察をする時に、安全な用具の使い方を指導する。観察をする時に見る視点や記録の取り方を確認する。活動の目的を常に意識させる。</li> <li>・児童の学習意欲が持続できるような問題解決型の単元計画を立てる。</li> <li>・実験結果だけを見るのではなく、そこから何が分かるのか、さらに掘り下げて考える活動を繰り返し行う。ノートのまとめ方を例示し、工夫できるように指導する。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や植物に関心をもち、学習に取り組むことができる。</li> <li>・観察・記録にすすんで取り組む姿勢が見られる。観察の手順や道具の使い方などを理解し、友達と協力しながら学習に取り組むことができた。</li> <li>・自然の事象・現象について、これまでの学習や経験もいかして予想を立ててから実験し、結果をまとめて、分かったことを考察する学習展開を常に行っている。しかし、結果と考察が混同している児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の際に、丁寧に学習の手順を指示する。また、観察や実験に用いる道具の使い方についても安全に使用できるように指導する。</li> <li>・結果を基に考えられることが考察であるということを今後も指導し、区別がつくようにする。また、実験結果だけを見るのではなく、そこから何が分かるのか、さらに掘り下げて考える活動を繰り返し行う。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の方法を考える際に、調べたい条件のみを変える必要があることを理解できた。</li> <li>・実験に対する意欲は高いが、実験の経過については関心をもって取り組んでいる児童とそうでない児童に差があった。</li> <li>・結果と考察の区別がまだ不十分な児童がいる。</li> <li>・理科室の使い方のルールを理解し、安全に気を付けて学習することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も実験方法を児童と考えながら進めていくことで、思考力を高める。</li> <li>・台風のニュースや、災害の実例を示すなど、身近に理科の学習と繋がる事象があることを知らせ、学習への関心を継続的にもてるよう、はたらきかける。</li> <li>・結果や考察を考える時間に丁寧に机間指導を行うとともに、学級全体で共有する場面で明確にしていく。文章で説明する機会を増やす。</li> </ul>

<p>6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ものの燃え方や植物の成長について学習したが、どの児童も比較実験の手法を理解し、調べたいことに対して必要な実験を考えることができていた。</li> <li>• 自分なりの考えをもち、ノートに書いたり、友達と意見交換したりすることができていた。</li> <li>• 実験の「結果」と、「考察」の違いを明確にして指導をする必要がある、違いを理解できた児童が増えてきたが、指導を続けていく。</li> <li>• 今年度も、児童間の距離がとれない実験や、唾液や息を使う実験は、教師による演示で実施した。しかし、事前にビデオで教科書通りの実験を録画したものを見せることで、児童の興味関心を引くとともに、テンポよく実験の概要を理解させることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• なぜそのような実験を行うのか、その理由を、根拠を明確にして説明できる力を指導していく。</li> <li>• 正解だけでなく多様な意見を抽出したうえで、検証のために実験を行うようにする。</li> <li>• 今後も結果と考察の違いについては明確にして指導していく。</li> <li>• 動画を使った指導を適宜取り入れていく。</li> <li>• 児童が学習内容を理解するために、実際に実験をするということはとても重要である。コロナ禍とはいえ、可能な限り実験を行うようにする。</li> </ul>
-----------	--	--